

子ども教育学部

Faculty of Childhood Education

教授

佛圓 弘修 (フツエン ヒロノブ)



講義紹介

「初等社会」では、小学校社会科の教科内容を中心に、暗記型から探究型の学びへの転換とその在り方にまで踏み込んでフィールドワークやワークショップを重ねていきます。さらに「初等社会科教育法」では、それを実証する授業づくりについて演習し、具体的な模擬授業をつくり合いながら実践的知識・態度・能力を培っていきます。「ヒロシマのこころ」では、本学園創立者である学園長自らの被爆体験証言を起点に、「平和をつくる」ことの意義と具体的方法論について考察していきます。

大学の魅力

本学には、『ひろしま人間教育研究センター』があり、授業力向上のために在学生在が中心になって運営する「学生授業研究会」、卒業生が運営母体になる「授業実践研究交流会」、さらにこれら二つの研究会に小学校現場の先生たちがコラボして下さる夏冬限定の「授業づくり合同研究会」の三つが日々躍動しています。困り感のある子どもたちが輝く授業づくりを目指し、本学ならではの『ケア』の精神を生かしたリアルな授業研究ができるセンターを持っているのは本学の大きな強みです。

受験生へのメッセージ

広島都市学園大学子ども教育学部には、人の痛みがわかる心優しい学生が溢れています。今、保育所、幼稚園、小学校では、子どもや保護者の方々に真に寄り添える先生が求められているだけに、先輩たちがつくりあげてきたあたたかい風土と環境を受け継ぎ、ここで力をつけていきたい受験生を心待ちにしています。

先生としての「心技一体」を体得しようとする方は、是非とも門戸をたたいてください。

佛圓弘修

ぶつえん ひろのぶ

佛圓 弘修 Hironobu Butsuen

子ども教育学部 子ども教育学科 教授

学歴・学位

立命館大学産業社会学部 卒業

佛教大学通信教育課程 修了

星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻 修士課程 修了 修士（教育学）

主要職歴

| | |
|-------------------------|----------------------------|
| 昭和 53 年 4 月～昭和 58 年 3 月 | 広島市立中野小学校 学校事務職員 教諭 |
| 昭和 58 年 4 月～平成 7 年 3 月 | 広島市立天満小学校 教諭 |
| 平成 7 年 4 月～平成 12 年 3 月 | 広島市教育委員会同和教育指導課 指導主事 |
| 平成 12 年 4 月～平成 15 年 3 月 | 広島市立天満小学校 教頭 |
| 平成 15 年 4 月～平成 16 年 3 月 | 広島市立基町小学校 教頭 |
| 平成 16 年 4 月～平成 24 年 3 月 | 広島市立基町小学校 校長 |
| 平成 24 年 4 月～平成 28 年 3 月 | 広島市立矢野南小学校 校長 |
| 平成 28 年 4 月～平成 31 年 3 月 | 広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科 准教授 |
| 平成 31 年 4 月～現在に至る | 広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科 教授 |

専門分野

人権教育、平和教育、社会科教育、特別活動、臨床教育学、教員養成

主な担当科目

ヒロシマのこころ、初等社会、初等社会科教育法、特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ、卒業研究

研究テーマ

主権者意識を育てる社会科カリキュラム

自尊感情に裏打ちされた学び合いの授業づくり

ひとこと

自尊感情に裏打ちされた「生きる力」が今、教育現場で求められています。確かな専門性と人間力を高め、子ども一人一人を徹底的に大事にできる先生を育てます。

所属学会・団体

日本生活指導学会

日本臨床教育学会

日本平和学会

全国社会科教育学会

日本社会科教育学会

特定非営利活動法人 ANT – Hiroshima

特定非営利活動法人 食べて語ろう会

一般社団法人 ふくしま文庫

熊野町教育委員

研究活動

著書

- 1) 「子どもと地域と学校と」(共)〔岡本京子、和田克彦 他 44 名〕兵庫部落問題研究所 1987 年 3 月
- 2) 「子どもの自立と授業の科学」(共)〔庄井良信、中瀬古哲 他 12 名〕溪水社 1991 年 4 月
- 3) 「未来の教育を創る教職教養指針」第 10 巻『生徒指導 第 5 章 授業づくりと生徒指導～深みのある学び合いをどうつくるか～』(共)〔田中昌也、高橋亜希子 他 7 名〕学文社 2018 年 10 月

学術論文(最近のもの)

- 1) 教育談話への教育学的アプローチ～学習疎外児童 S の自立援助過程の分析を中心に～(共)〔庄井良信、有馬健雄 他 3 名〕『広島女子大学家政学部紀要』第 30 号 1994 年 12 月
- 2) セラピーネットワーク：地域民主主義の担い手をはぐむ教師の役割とは何か(共)〔庄井良信 他 1 名〕『生活指導研究』第 12 巻 pp.26～41 1995 年 3 月
- 3) 授業改革～ハラスメント性を乗り越えて～(単)『日本教育』4 月号 pp. 2～5 2010 年 4 月
- 4) 地域の担い手を育てる「社会科カリキュラム」と「授業」の創造—社会科における『生きる力』を『共に生きる力』へ発展的再構築していく試み—(単) 広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第 3 巻第 1 号 pp.1-12 2017 年 3 月
- 5) 主体的な社会参画意識を育む「社会科カリキュラム」の考察—『川口プラン』及び『基町プラン』に学ぶ—(単) 広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第 4 巻第 1 号 pp.1-10 2017 年 12 月
- 6) 主権者意識を育む社会科授業の創造 I—地域と『共生する力』を育む—(単) 広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第 4 巻第 2 号 pp.1-12 2018 年 3 月
- 7) 人権を視点とした平和教育の創造—『ヒロシマのこころ』の展望—(単) 広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第 5 巻第 1 号 pp.11-20 2018 年 7 月

- 8) 「授業カンファレンス」で人を育てる—研究交流連携の模索— (単) 広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第5巻第2号 pp.11-22 2019年2月
- 9) 小学校社会科における『学習問題』の一考察—主体的な学び合いをどうつくるか— (単) 広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第6巻第1号 pp.45-54 2019年9月
- 10) 主権者意識を育む社会科授業の創造Ⅱ—共助の担い手を育てる防災・減災学習— (共)〔野元祥太郎 他1名〕 広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第6巻第2号 pp.23-35 2020年3月
- 11) 自己調整力を育む特別活動—特別活動を核としたカリキュラム・マネジメント— (共)〔二宮孝司 他1名〕 広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第7巻第1号 pp.37-46 2020年9月
- 12) 外国にルーツをもつ児童との共生を図る特別活動—地域での居場所をつくる学校の役割— (共)〔二宮孝司 他1名〕 広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第7巻第2号 pp.25-34 2021年3月

その他 (学会発表等)

- 1) 「いま『チームとしての学校』を問い直す」 (単) 日本臨床教育学会 第6回大会(立命館大学) 2016年9月24日
- 2) 「子どもたちの居場所～『子どもたちの叫び』に応える～」 (単) NPO 法人食べて語ろう会・全国再非行防止ネットワーク協議会シンポジウムにおけるシンポジストとして口頭発表 2020年1月18日
- 3) 「食べて語ろう会5周年記念誌『基町の家を深い学びの家に』」 (単) NPO 法人食べて語ろう会 2021年3月1日
- 4) 「食べて語ろう会会報『コロナ禍での子どもたち』」 (単) NPO 法人食べて語ろう会 2021年3月12日